

2019年4月10日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	NPO 全日本障害者音楽連盟 宮城支部
団体所在地	〒981-3215 仙台市泉区北中山1丁目9の5 (団体電話) 022-376-6139 (団体FAX) 022-376-6139 (団体e-mail) (団体ホームページ)
代表者名	(役職) 土川 ゆかり (支部長)
連絡担当者名	(役職)
連絡担当者住所・連絡先	〒

1. 助成事業報告

事業名	「みんなの楽しいコンサート in 仙台」
目的	私達は「障がいがあってもピアノは弾ける」を合言葉に次の目的を持って活動しています。①ピアノを学ぼうとする障がい者に指導する者が集い、教授法、開発を行う。②会員の相互啓発を通して音楽家、指導者としての資質向上を図る③さらに総合的な教育に役立て、音楽文化の発展、人類の幸福の為に寄与する。
実施内容	参加対象：障害者 {。来場者数：152名 。来場者感想 添付 8月11日(土) 第15回 みんなの楽しいコンサートin仙台 会場：仙台市 福祉プラザ ふいあいホール (県内外からの参加者も募り、音楽、楽器の形態は自由) 演奏会終了時には賞状を授与 交流会を設け、指導者、出演者との家族の交流、情報交換を行った。

<p>開始から終了までの流れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会 1/30. 3/29. 4/15. 5/20. 6/20 7/3. 7/9 ・チラシ作成 5月中 ・出演者募集 (チラシ、DM、メール、ポスター等) ・広報活動・みやぎ生協 福祉活動誌掲載 ・市民活動センター設置 ・第15回 みんなの楽しいコンサート仙台開催 8/11 ・反省会、次回への計画等、まとめ
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>第15回目を迎えた記念コンサートは、様々な演奏形態の参加で、盛況内に終了致しました。オープニングに会のテーマソング(リリック)と会場の皆さんと手話を使い歌い、出演者22名、グループ1組が、個性溢れる心の込めた演奏をこころしました。障がいのある方が、この日を目標として練習に励み、結果として自信に満ちて演奏する姿に会場からは、大きな拍手が沸き上がりました。毎年県外からも仙台でのコンサートで演奏出来る事を励みに来られます。継続して参加出来る方は音楽を通じ交流の輪広がりています。指導者、障がいのある方の研鑽を積み重ねる時となっています。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>ピアノを学ぼうとする障がい者に音楽指導を行う者が集い、教授法を行う。演奏会の場のみならず、各地域に学ぶ機会を設けたいと考える。実際指導する場を設ける公開研究会として広く知って欲しいと考えている。 これにより、障がい者が音楽する事を断念するのではなく、希望を掲げる機会となり得、更にはステージで演奏出来る事と自信につながって行ける機会となる様、各方面に私達の活動を広報して行きたい。そして障害者への理解が深まりたいと願って活動します。</p>

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	50,000	
出演者参加費	74,000	3500円 × 20人 1000円 × 4人
自己資金(経費負担)	10,000	
合計	134,000	

■ 支出の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの 支出額	領収書 No.
印刷費	700グラム	55,000	32,400	50,000	①
	チラシ		24,600		
	デザイン		3,000		
事務用品 記録費	インク、用紙他	10,000	13,715		
	写真代	5,000	3,405		
通信費	切手代	8,000	10,428		
謝礼	司会者	20,000	20,000		
	ゲスト		6,000		
交流会費	交流会茶菓、飲物	8,000	9,148		
記念品代	出演者記念品	20,000	12,960		
交通費 コピー費	ボラニア会員移動	8,000	15,000		
	コピー	5,000	555		
会議費	会場費		500		
渉外費		5,000	2,678		
合計		144,000	154,389		

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー (助成金から支出した分のみ) 番号を振ってください
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)

Heart of Song

(心の音を奏でよう)

作詞 作曲
土川ゆかり

おんぶがわらう わたしのこころもいっしょに リズ
ムもおどる わたしのこころも
うれしいとき かなしいとき
いろんなおとがー あつまってこ
ころのえを かいてみよう わたしだけ
のおとをか なで よう

音符が笑う 私の心も一緒に
リズムも踊る 私の心も
嬉しい時 悲しい時
色々な音が 集まって
心の絵を 描いてみよう
私だけの音を 奏でよう

全日本障害者音楽連盟のこれまで

2003.7.23	仙台市青年文化センター	第1回みんなの楽しいコンサート in 仙台 ■講演「障害とピアノ」(迫田時雄) <会員発表>「惇ちゃんの歩み、今迄とこれから」(土川ゆかり)
2004.7.28	ヤマハミュージック東北仙台店	第2回みんなの楽しいコンサート in 仙台 ■講演「IPDとピアノパラリンピック」(迫田時雄) 「人工内耳装着時のピアノレッスン」(吉田順子) <会員発表>「ピアノと私」(藤田孝子)
2005.1.9～10	横浜みなとみらい	第1回ピアノパラリンピック (IPD本部主催) ■宮城支部より高橋直樹さん出演
2005.6.17	仙台市福祉プラザ	みどりの風さわやかチャリティーコンサート
2005.10	カナダ・バンクーバー	バンクーバー デモンストレーションコンサート (IPD本部主催) ■宮城支部より高橋直樹さん出演、土川ゆかり評価委員として出席
2005.8.15	ヤマハミュージック東北仙台店	第3回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2006.7.30	ヤマハミュージック東北仙台店	第4回みんなの楽しいコンサート in 仙台 <会員発表>「リハビリからの音楽～現在」(高橋美智子)
2007.6.17	仙台市福祉プラザ	第5回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2007.12	ニューヨーク・カーネギーホール 国連ハマースホルドホール	ニューヨーク デモンストレーションコンサート (IPD本部主催) ■宮城支部より高橋直樹さん出演、阿部弘子評価委員として出席
2008.8.10	仙台市福祉プラザ	第6回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2009.8.2	仙台市福祉プラザ	第7回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2009.9.30～ 10.3	カナダ・バンクーバー	第2回国際障害者ピアノフェスティバル (IPD本部主催) ■宮城支部より高橋直樹さん出演、土川ゆかり評価委員として出席
2010.8.1	仙台市福祉プラザ	第8回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2011.9.18	槻木生涯学習センター	第9回みんなの楽しいコンサート in 槻木
2012.10.14	仙台市福祉プラザ	第10回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2013.7.28	仙台市宮城野区文化センター	第11回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2014.9.21	仙台市福祉プラザ	第12回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2016.8.7	仙台市福祉プラザ	第13回みんなの楽しいコンサート in 仙台
2017.8.11	仙台市福祉プラザ	第14回みんなの楽しいコンサート in 仙台

第15回

みんなの楽しい
コンサート in 仙台

～障がいをもったみなさんが奏でる心の調べ～

8/11 (土・祝)

開場 12:30
開演 13:00

仙台市福祉プラザ2F
ふれあいホール



活動支援チャリティ募金を
受付けております

COOP トリプルカード
みやぎスマイル基金 助成事業



後援: 宮城県・仙台市・(株)仙台市社会福祉協議会・仙台市教育委員会・(株)仙台市障害者福祉協会

NHK 仙台放送局 河北新報社 ミヤギテレビ

主催: NPO全日本障害者音楽連盟宮城支部

L.D.M ご案内



NPO法人 全日本障害者音楽連盟

会の目的

私たちは「障がいがあってもピアノは弾ける」を合言葉に次の目的をもって活動しています。

1. ピアノを学ぼうとする障がい者に音楽指導を行う者が集い、その教授法の研究・開発を行う
2. 会員の相互啓発を通して、音楽家、指導者としての資質向上を図る
3. さらに、総合的な教育に役立て、音楽文化の発展、人類の幸福のために寄与する



宮城支部指導者

阿部 弘子 春日 公子
高橋 美智子 千葉 留美
土川 ゆかり

NPO法人 全日本障害者音楽連盟
宮城支部

土川 TEL 022-376-6139

ごあいさつ

宮城県知事 村井 嘉浩



第15回「みんなの楽しいコンサートin仙台」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

NPO法人全日本障害者音楽連盟におかれましては、障害のある方と音楽をつなぐ活動を通じ、県内の文化振興や共生型社会の推進に多大な御貢献をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

さて、東日本大震災の発生から7年あまりが経過いたしました。被災された方々の「こころの復興」を後押しする文化芸術活動は、一層重要なものとなっております。

本日は、幅広い年代の皆様が、クラシックの名曲からおなじみのポップス曲まで、様々な曲目を御披露されると伺っておりますが、これまでひたむきに積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮し、また、この演奏会で得た自信と経験を胸に、様々な分野で活躍されることを期待申し上げます。

結びに、御参会の皆様の更なる御活躍と、本コンサートが多くの方々々に親しまれ、なお一層発展していくことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

仙台の皆様へ

NPO法人 全日本障害者音楽連盟 (LDM)
ピアノ指導者研究会 (IPD)
代表 細田 美智子



みんなの楽しいコンサート15周年を迎えられおめでとうございます。この会に携われた先生方・ボランティアの皆様には何かと御苦労があったと思います。しかしその困難の中で出演者の方と共に頑張られてこの日を迎えられる事に心より拍手喝采させていただきます。

これからも障がい者・障がい児童のためにご協力頂きたいと思っております。

「障がいがあってもピアノは弾ける」を合言葉に始まった日本障がい者ピアノ指導者研究会も年を重ね、2年前より更にたくさんの音楽の好きな方々が集まりました。そうした事情から参加対象をピアノだけでなく合唱や他の楽器も参加できる事が望ましいと思ひ、ピアノ指導者研究会と並列する形で全日本障害者音楽連盟を立ち上げました。それにより独唱や合唱、グループでそれぞれ得意な楽器で演奏できる方がたくさん出演されるより楽しい演奏会が出来るようになりました。

音楽は演奏する人にとって心の支えになり、コンサートに参加して演奏し皆様から温かい拍手を頂く事で次もがんばろうという気持ちにさせてくれます。それだけではなくご清聴下さる方々の心にも音楽は大きなやさしい気持ちや明日への希望につながる力を与えます。

これらを実現するのが忙しい日々の中音楽への研鑽を重ねてこられた貴方がたの音楽だと思ひます。

どうぞこれからも「仙台のみんなの楽しいコンサート」を盛り上げて下さいますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶

NPO法人 全日本障害者音楽連盟
宮城支部長 土川 ゆかり



「みんなの楽しいコンサート」が今年も開催出来る事を嬉しく思います。この会を仙台で支部として立ち上げたのは2003年、以来15年にわたり活動してきました。これまでの歩みは一步一步手探りで、最初のコンサートは小さな会場からスタートしました。

今ではコンサートホールで皆さんに演奏を披露していただけるようになりました。これまでにこの会のためにご協力下さいました方々、また、企業からの温かいご支援に心より御礼を申し上げます。

「障がいがあってもピアノは弾ける」この希望に満ちた言葉は、指導者と音楽を学びたい方々に大きな夢を与えてくれる言葉となりました。私だけの心の絵を描こう、私だけの音を奏でよう。これからも沢山の方々の学びの場、楽しい会となるよう尽力して参ります。今後とも宜しくお願いいたします。